

平成 21 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 アセット・インベスターズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 森 下 将 典
 (コード 3121 大証 2 部・福証)
 問合せ先 財務経理部長兼社長室長 宮 毛 忠 相
 (TEL 03-3502-4910)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 21 年 2 月 12 日付当社「平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」にて公表しておりました、平成 21 年 3 月期連結業績予想について、下記の通り修正する旨を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	9,000	9,200	9,400	7,700	65 円 33 銭
今 回 修 正 発 表 (B)	7,800	11,600	11,900	10,000	89 円 44 銭
増 減 額 (B - A)	1,200	2,400	2,500	2,300	
増 減 率	13.3%				
【ご参考】前期実績 (平成 20 年 3 月期)	5,054	1,128	1,515	44	55 銭

(2) 修正の理由

平成 21 年 2 月 12 日付当社「平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」にて公表の通期連結業績予想との差異は以下の通りであります。

世界的な金融危機に伴う株式市場の急激な悪化により、国内外の企業株式を中心に当期末までに予定しておりました売却が次期以降にずれ込んだことから、通期の予想売上高を 7,800 百万円（前回予想は 9,000 百万円）に修正いたします。

損益の予想につきましては、前述の売却遅延に加えて株式市場の大幅な低下等に伴う営業投資資産等の評価損を約 10 億円、不動産市況の悪化に伴い、従来以上に厳格な資産評価を実施したことにより、不動産投資資産等において約 13 億円の評価損を追加で計上した結果、営業損失 11,600 百万円（前回予想は営業損失 9,200 百万円）経常損失 11,900 百万円（前回予想は経常損失 9,400 百万円）当期純損失 10,000 百万円（前回予想は当期純損失 7,700 百万円）に修正いたします。

純資産の状況につきましては、平成 21 年 1 月 15 日付払込の第三者割当増資約 10 億円、転換社債型新株予約権付社債の社債償還益約 14 億円を計上したことから、当期末の連結純資産及び自己資本比率はそれぞれ 2,369 百万円、23.7%となり、当第 3 四半期末より大幅に改善する見込みです。なお、平成 21 年 3 月期連結決算短信につきましては、平成 21 年 5 月 15 日付で発表する予定です。

2. 今後の対応について

当社グループは、現下の未曾有の金融危機に対処すべく、第4四半期には、さらに踏み込んで徹底したコスト削減、積極的な投資回収、保守的な資産評価、不採算事業からの撤退、及び有利子負債の大幅削減などの経営合理化を実施しました。また、平成21年1月16日付で発表致しました「アセット・インベスターズ株式会社新経営戦略」にありますとおり、日中間ビジネスをコア事業とした経営資源の集中を開始致しました。

この結果、本日付で別途開示させていただきました「継続企業の前提に関する注記の解消について」で記載の通り、財務基盤の安定化と収益基盤の強化に一定の進捗を見るに至ったことから、「継続企業の前提に関する注記」は記載しないこととしました。

以上